

## エボニック、サーキュラー・プラスチックのソリューションにより 2030年までに3億5,000万ユーロの追加売上を目指す

2021年4月1日

- ・ よりサステナブルなソリューションに向け、サーキュラー・プラスチックの活動を展開
- ・ リサイクル技術のための広範なソリューションで原材料を循環
- ・ エボニックのバリューチェーン・パートナーと密接に協力

本件に関するお問合せ  
エボニック ジャパン(株)  
コミュニケーションズ  
TEL 03-5323-7353  
FAX 03-5323-7399  
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)は、サーキュラー・プラスチックに関する活動をグローバルなプログラムにまとめています。そして、2030年までに年間3億5,000万ユーロ以上の追加売上がこのプログラムを通じて生み出されることを目指します。

エボニックは、循環型経済への移行の一環として、ポリマーのバリューチェーンのあらゆる段階で顧客にソリューションを提供しています。エボニックの添加剤と技術は、メカニカルリサイクルおよびケミカルリサイクルの効率を高め、循環型プラスチックの入手可能性を向上させます。また自社の生産工程において、循環型ソースからの持続可能な原材料の使用を増やしていきます。

エボニック インダストリーズ取締役会副会長イノベーション担当ハラルド・シュヴァーガー(Harald Schwager)は、「資源を慎重に利用し、気候変動対策を取ることで、循環型経済への道を歩むことができます。エボニックには、化石由来の原料を減らし、より循環的な原料を用いて新しい材料サイクルを生み出すという革新的な技術力があります。私たちはその可能性を十分に活かします」と述べています。

世界では毎年、3億5千万トン以上のプラスチックが生産されていますが、そのうちのごく一部しかリサイクルされていないのが現状です。エボニックは、自社の添加剤やソリューションを用い、サステナブルなプラスチックアプリケーションの循環型経済への転換を促進することができ、それを競争力のあるコストと品質で実現することができます。

エボニックのサーキュラー・プラスチック・グローバルプログラムの責任者であるローレン・ケルセン(Lauren Kjeldsen)は、「このプログラム実現に向け、ポリマーのバリューチェーン全体のパートナーと密接に協力しています。成功の鍵を握るのはイノベーションです」とコメントしています。

メカニカルリサイクルでは、プラスチックを選別、準備、洗浄を行ってから、溶融し粒状にしてリサイクル(再生処理材料)を作ります。この手順は主に熱可塑性プラスチックに用いられ、古タイヤにも同様のプロセスがあります。エ

エボニック ジャパン 株式会社  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F

[www.evonik.jp](http://www.evonik.jp)

ボニックの専門家は、リサイクル業者がプロセスの効率と品質を大幅に改善できるよう取り組んでいます。例えば、特別仕様の界面活性剤は、ラベルを素早く残さず剥がすために使用され、消泡剤は洗浄プロセスを簡素化し、脱水剤はその後の乾燥に必要なエネルギーと時間を節約します。また、リサイクルートの臭気を最小限に抑えることも重要です。エボニックの特殊添加剤は、高品質で再利用可能なリサイクルートの量を約 5%増加させることができます。エボニックは、2025 年までに約 40 万トンのリサイクル可能なプラスチックに対して、このようなソリューションを提供することを目指しています。

さらに、機械的にリサイクルができないプラスチック廃棄物を対象に、さまざまなケミカルリサイクル技術の開発にも取り組んでいます。ケミカルリサイクルでは、ポリマー鎖を分割し、新しいプラスチックを製造するための構成要素を得ることができます。例えば、エボニックは現在、非常に汚れたポリエチレンテレフタレート(PET)廃棄物のリサイクルを促進するプロセスを開発しています。メタノリシス反応\*によってハイエンド製品向けの新しいモノマーを得ることができます。

また、ケミカルリサイクルには、プラスチック廃棄物を制御して焼却し、熱分解油や合成ガスを生産するという手法もあります。エボニックは、これらのプロセスをより効率的に行うための最新技術を提供しています。例えば、ガスを処理するための添加剤、触媒、膜などです。これらの熱分解油や合成ガスは、プラスチックを製造するための原料として使用することができます。

これらのすべてのプロセスに共通しているのは、石油などの化石資源を可能な限り代替し、廃棄物を出さず、二酸化炭素の排出量を最小限に抑えることを目指していることです。

\*エステルとメタノールを反応させた際、それぞれの主鎖部分が入れ替わる交換反応。

#### **エボニック インダストリーズについて**

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2020年度は、122億ユーロの売上、19.1億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、33,000人以上の社員が働いています。

#### **アジア・パシフィック・リージョンについて**

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2020年度は、28.7億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,000人以上の社員が働いています。

#### **免責事項**

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2021年3月23日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)